

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年3月7日(2024.3.7)

【国際公開番号】WO2023/188415

【出願番号】特願2022-547316(P2022-547316)

【国際特許分類】

A 6 1 C 7/00(2006.01)

A 6 1 C 7/08(2006.01)

A 6 1 C 19/00(2006.01)

A 6 1 F 5/56(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 C 7/00

A 6 1 C 7/08

A 6 1 C 19/00 M

A 6 1 F 5/56

【手続補正書】

【提出日】令和4年8月3日(2022.8.3)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上顎及び下顎の中切歯から第二大臼歯の少なくとも一部までに対応するU字形の基部と

、
前記基部から前記上顎側に延設され、装着時に、前記上顎の中切歯と上唇の間に位置し、
前記上顎の少なくとも中切歯の唇側面が当接し得るように構成された上外壁と、

30

前記基部から前記下顎側に延設され、装着時に、前記下顎の中切歯と舌の間に位置し、
前記下顎の少なくとも中切歯の舌側面が当接し得るように構成され、前記基部の端部又は
第一大臼歯に対応する位置まで形成された下内壁と、

前記下内壁から前記基部のU字の内側、且つ、下顎方向に延出し、中央に溝を有すること
により前記基部と同方向のU字形をなす舌置部を具え、

前記基部及び下内壁の、第二小臼歯と第一大臼歯の間に対応する位置の少なくとも一部
に、第一切断案内部が形成され、

前記基部及び下内壁の、第一大臼歯と第二大臼歯の間に対応する位置の少なくとも一部
に、第二切断案内部が形成され、

前記第一切断案内部及び/又は第二切断案内部とそれぞれ対応する第一舌置部切断案内
部及び/又は第二舌置部切断案内部が前記舌置部に形成され、

40

前記舌置部が、前記基部に沿うU字状切断案内部をさらに具えることを特徴とする、
マウスピース。

【請求項2】

前記舌置部の厚みが前記基部の端部又は第一大臼歯に対応する位置から前記中切歯側
に向けて次第に厚くなっている、請求項1に記載のマウスピース。

【請求項3】

前記溝が前記基部の端部方向に拡開している、請求項1に記載のマウスピース。

【請求項4】

前記第一舌置部切断案内部及び/又は第二舌置部切断案内部が前記中切歯方向に傾斜し

50

ている、請求項 1 に記載のマウスピース。

【請求項 5】

前記上外壁が、前記基部の端部又は第一大臼歯に対応する位置まで形成され、

前記第一切断案内内部及び / 又は第二切断案内内部が前記上外壁にも形成されている、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のマウスピース。

【請求項 6】

前記上外壁が、前記基部の U 字に沿う上外壁上部切断案内内部をさらに具える、請求項 5 に記載のマウスピース。

【請求項 7】

前記基部から前記上顎側に延設され、装着時に、前記上顎の中切歯から第二大臼歯と硬口蓋の間に位置するように構成され、前記基部の中切歯から端部又は第一大臼歯に対応する位置まで形成された上内壁を具え、

前記第一切断案内内部及び / 又は第二切断案内内部が前記上内壁にも形成されている、請求項 5 に記載のマウスピース。

【請求項 8】

前記基部から前記下顎側に延設され、装着時に、前記下顎の中切歯から第二大臼歯と下唇の間に位置するように構成され、前記基部の中切歯から端部又は第一大臼歯に対応する位置まで形成された下外壁を具え、

前記第一切断案内内部及び / 又は第二切断案内内部が前記下外壁にも形成されている、請求項 5 に記載のマウスピース。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

本発明は、上顎及び下顎の中切歯から第二大臼歯の少なくとも一部までに対応する U 字形の基部と、

前記基部から前記上顎側に延設され、装着時に、前記上顎の中切歯と上唇の間に位置し、前記上顎の少なくとも中切歯の唇側面が当接し得るように構成された上外壁と、

前記基部から前記下顎側に延設され、装着時に、前記下顎の中切歯と舌の間に位置し、前記下顎の少なくとも中切歯の舌側面が当接し得るように構成され、前記基部の端部又は第一大臼歯に対応する位置まで形成された下内壁と、

前記下内壁から前記基部の U 字の内側、且つ、下顎方向に延出し、中央に溝を有することにより前記基部と同方向の U 字形をなす舌置部を具え、

前記基部及び下内壁の、第二小臼歯と第一大臼歯の間に対応する位置の少なくとも一部に、第一切断案内内部が形成され、

前記基部及び下内壁の、第一大臼歯と第二大臼歯の間に対応する位置の少なくとも一部に、第二切断案内内部が形成され、

前記第一切断案内内部及び / 又は第二切断案内内部とそれぞれ対応する第一舌置部切断案内内部及び / 又は第二舌置部切断案内内部が前記舌置部に形成され、

前記舌置部が、前記基部に沿う U 字状切断案内内部をさらに具えることを特徴とするマウスピースによって前記課題を解決した。

10

20

30

40

50